

誰もが見守り合い、支え合える地域へ ～阿久和北部地区のまちづくり～

第3期地域福祉保健計画の主な活動

1. 買い物困難者支援事業の推進

平成29年に実施した買物に関する全戸アンケート結果に基づき、平成30年5月からスタートした移動販売車による買物支援事業も丸2年を迎えようとしており、ようやく地域に定着してきました。現在の3箇所からもっと増やしてほしいというご意見もあり、今後も皆様の声に耳を傾けながら、買物支援事業を維持拡充していきたいと考えています。



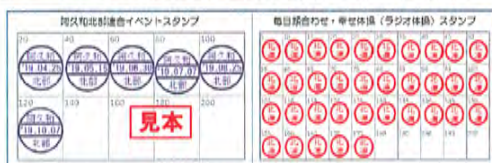
2. 健康スタンプカード事業の推進

健康づくりを目的とした各種事業への参加を推進するために、イベントに参加するとポイントがもらえる健康スタンプカード事業を平成30年に開始。100ポイント単位で100円分のお買い物券を提供、現在まで約600枚の買い物券を発行しました。また、各事業を担うボランティアスタッフにも参加者と同様にポイントが与えられるため、励みにもなっています。



毎朝50～60名の方が参加する
ラジオ体操も健康スタンプ(↓)の対象

【買い物券が使用できる場所】



- ・移動販売車や長屋門公園でのお買物
- ・「喫茶だんらん」(サロン)や見守り朝市でのお買物
- ・「さとまつり」、「七夕灯籠祭り」、「見守り合いの集い」の模擬店 など

3. 子ども向け事業の推進

年6回開催している「子ども食堂・大カレーパーティー」や、阿久和北部青少年部会が毎月開催している「ピケ(子ども遊びイベント)」に加え、専門家の講師による「教室」事業を新たに開始しました。まず夏と冬に地元在住のプロを招いてペーパークラフト教室を実施。春には折り紙教室を予定、来年度は科学実験教室や手芸教室なども検討中です。



ココロ立体交差迷路



飛び出すクリスマスカード



TVチャンピオンのペーパークラフト選手権にも出場経験のある地元在住の雪下さん

第4期地域福祉保健計画の課題

以下のような問題意識を持って、第4期に向けた具体的な施策を検討していきたいと考えています。

- ・定着している事業でも、更に拡大できる方法はないか。
- ・参加者が伸び悩んでいる事業は、いかにして広めて継続していくか。
- ・複数の関係団体が協力し合うことで、新しい事業ができないか。
- ・新しい地域の担い手をどうやって発掘していくか。
- ・役員が替わっても、各事業の目的などの認識を共有化していけるか。

【推進母体】

阿久和北部代表者会議メンバー〔自治会長、地区社会福祉協議会（各種団体・部会・委員会代表）〕、ボランティアグループ代表、障害者支援団体代表、小中学校・保育園、地区内福祉施設、地区支援チーム

阿久和南部地区

令和元年度
かわら版

いつまでも住み続けたいふるさとまちづくり

阿久和南部地区は第3期瀬谷区地域福祉保健計画を基に、地域の福祉保健推進のため活動しています。

《第3期地域福祉保健計画》

目 標：いつまでも住み続けたいふるさとまちづくり

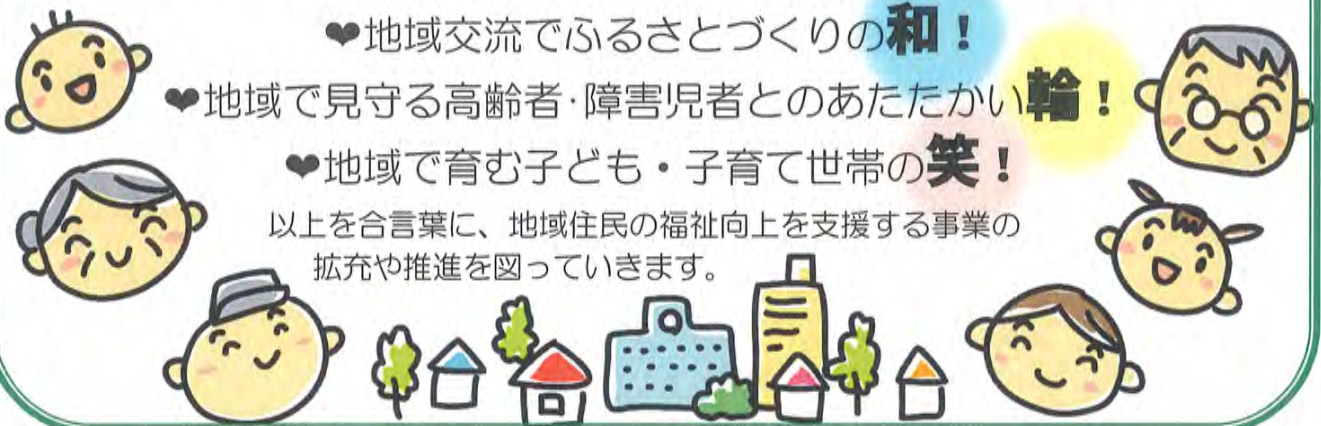
スローガン：～みんなで創ろう なんぶ・あくわの 和！輪！笑！～

♡地域交流でふるさとづくりの**和！**

♡地域で見守る高齢者・障害児者とのあたたかい**輪！**

♡地域で育む子ども・子育て世帯の**笑！**

以上を合言葉に、地域住民の福祉向上を支援する事業の
拡充や推進を図っていきます。



【第3期（平成28年～令和2年）地域福祉保健計画の振り返りを行いました】

阿久和南部地区地域福祉保健計画推進委員会では、第3期の取組の振り返りとして各団体にて「実行できたこと」「出来なかったこと」「時期に向けての方向性」について話し合ったものを基に、地区全体の地域福祉についてのこれまでとこれからを話し合いました。

防災関係でいい取組ができた！

乳幼児や子育て世代を対象とした防災イベントは好評だった！

新規で2自治会が防災訓練を実施！

情報の共有ができた！

委嘱団体・単位自治会・連合自治会・地区社協の行事を洗い出し、「和・輪・笑」に落とし込んで見える化した！

会長会にて各自治会の特徴的な取組を発表し共有した！

新たな取組を開始！

子ども支援対策検討委員会始動！

見守り配食団体立ち上げに向けて動き始めた！

つながり作りで地域包括ケア！

地域の福祉事業所と共催で防災訓練！

委嘱団体同士で協力・連携！

継続の力！

防犯ステーション事業の継続！

第4期に向けて更に話し合いをすすめます！



◆阿久和南部地区の様々な取り組み◆

あくわなんぶ
スマイルくん



民生委員と協力して、お1人暮らしのご高齢者を対象に防災備蓄品を配布しています。

お1人暮らしのご高齢者を対象に「南部まつり・地区社協お楽しみ券」を配布し、外出の機会を促進しています。

南部まつり・高齢者外出促進事業

大人も子どもも楽しめるイベントとなりました。



瀬谷区制50周年記念
折り紙ヒコーキ大会・子どもフェスティバル



放課後の居場所として月1回開催しています。

ぽかぽかプラザ 学習応援クラブ

小学生・中学生対象
横浜隼人高校のお兄さん
お姉さんが楽しく優しく
勉強を教えてください。



小・中学生放課後支援
笑！和！輪！クラブ



阿久和南部地区
子ども支援対策検討委員会

平成30年5月に
発足し、地区内の
子どもの状況や子
育て支援体制に
ついて検討を重ね
ています。



～阿久和南部地区の発展に寄与していきます～

三ツ境地区

発行者：三ツ境地区住みよいまちづくり推進委員会

かわら版

発行責任者：会長 諸橋 政治



「令和」ここから始めます

令和元年度 住みよいまちづくり事業計画

〈基本的な活動方針〉

少子高齢化や人口減少、住民同士のつながりの希薄化等、私たちを取り巻く社会の状況は大きく変化しています。

同時に社会的孤立や介護、育児の問題を同時に抱える「複合的な課題」、現在の支援制度では対応が難しい「制度の狭間の問題」が増えています。

こうした中で、地域を基盤にした支えあいが注目され、福祉保健分野を問わず、様々な主体が協力して問題や課題を解決する力を高めていくことが必要とされています。

このような状況を踏まえ、三ツ境地区住みよいまちづくり推進委員会では、「地域共生社会の実現」を目標に掲げ、三つの事業を基本に実施していきます。

今年度は、困りごとや悩み事に対して、三つの事業を基本に実施していきます。



三ツ境地区サポーターズの継続的運営と安定的定着を図ります。

高齢者(世帯)の見守り活動を民児協と連携して充実を図ります。

「こどもの居場所」を立ち上げ、活動を実施して行きます。



令和2年度4月

「見守り・支え合いカード」の更新のお知らせ

来春「見守り支え合いカード」と「緊急カード」の更新時期を迎えます。

年度末には各自治会町内会長より案内がありますので、

どうぞよろしくお願いいたします。

三ツ境地区で 「こどもの居場所」活動、 始まる!

今年の8月からスタートしましたこどもの居場所活動、昨年から検討会を開き準備して来ました。第1回目は子ども達が来てくれるか、逆に多く子ども達が集まってしまったらどうしようかと複雑な心境でした。10月は21名の子ども達が来てくれました。学校の宿題やゲーム遊びをやりながら楽しく過ごしました。開催は毎月第三水曜日の午後3時から5時です。



瀬谷区制 50 周年記念事業 「ふるさとまつり 三ツ境地区レクリエーション大会」開催

10月14日・体育の日、秋季恒例の三ツ境地区レクリエーション大会を開催しました。

当日は猛威をふるった台風19号明けのためか、時々小雨の降る不安定な天気でしたが、昼休みを中心に記念イベントを賑やかに展開。まずは三ツ境小学校在校生と三ツ境幼稚園の園児がカードに書いた“将来への夢と希望”を色とりどりの風船に託し、参加者全員で“天まで届け!”と大空に放ちました。中には小田原まで飛んで行った風船もあったようです。続く「三ツ境歴史クイズ大会」では、6問のふるさと歴史クイズを出題。最後まで勝ち残った50名に瀬谷区制50周年記念切手シートをプレゼント。そして希望者には10年後に大切な人(あるいは自分自身)に届く「タイムカプセルハガキ」を書いてもらいました。

プログラムの最後は、幅広い世代をタスキでつなぐ恒例の「三ツ境リレー」。今年は特に50周年記念として、諸橋会長から今年限定取切りの「諸橋杯(優勝・準優勝)」が寄贈され、ダークホースの「ラッキーセブン(第7ブロック=清和会・双友会・睦会・互親会)」が2位の富士見台に12秒以上の大差をつけて感涙の初優勝を飾り、過去と未来をつなぐ記念イベントを締めくくりました。



子供たちの未来への夢・・・天まで届け!風船カードは遠く小田原、松戸(千葉)まで飛んでいきました。



三ツ境歴史クイズ第2問「せやまるは区制30周年を記念してデビューした!? マルかバツか?」



瀬谷第一地区 かわら版

第3期地域福祉保健計画実施の振り返り

瀬谷第一地区では以下の4つの目標を掲げて第3期地域福祉保健計画を推進してきました。現在も継続している活動がある一方休止した活動もあります。求められている活動は何かをよく考え、今後活かしてゆきます。

1. 健康長寿をと もに喜び合える地 域にしてゆこう

2. 地域から幅広い 見守り活動と支援 を推し進めよう

3. 地域から 友達づくり、 仲間づくり、 担い手づくりを 拡げよう

1 年 目		WA T活動の推進 さりげない見守り活動（継続）		
	寿福祉大会 第一地区社会福祉協議会		安心キットの普及 (2016年～)	趣味特技アンケートの 実施 (2016年)
	寿福祉大会の開催（継続）			趣味特技をもとにした 懇談会の開催 (2017年) (現在は休止)
	健康体操の実施（継続）	見守りマップづくりによる きめ細かい見守り (2017年～2018年)		太極拳の堪能な人に、 社明の集いで講師を依頼 (2017年6月)
	シニアクラブの活動 グランドゴルフの定例開催 (2017年～)	地域の児童や 幼児にも目を向ける見守り (2018年～)		書道の得意な人講師に 児童の冬休み習字教室を開く (2017年～)
2 年 目	ふくわ会の定例開催 (継続)			
		町内会別の新サロンの開催 (2019年～)	顔の見える 見守りの活動	
3 年 目				
4 年 目				
5 年 目				

4. 住民の要望を 行政に働きかけて、 活力の生れる地域と して行こう



瀬谷第一地区のある瀬谷駅前周辺では、南口の再開発計画やまた北口の商業施設の建設、また上瀬谷通信基地の跡地利用など、住民に直結した課題があります。住民の意向を把握しながら、必要な対応をとってきました。

- 救急車両の増両要望叶う (2018年～)
- 南口再開発事業組合との定期懇談 (2018年～)





アンケートの集計結果から見える 地域福祉保健計画の広がりこれから

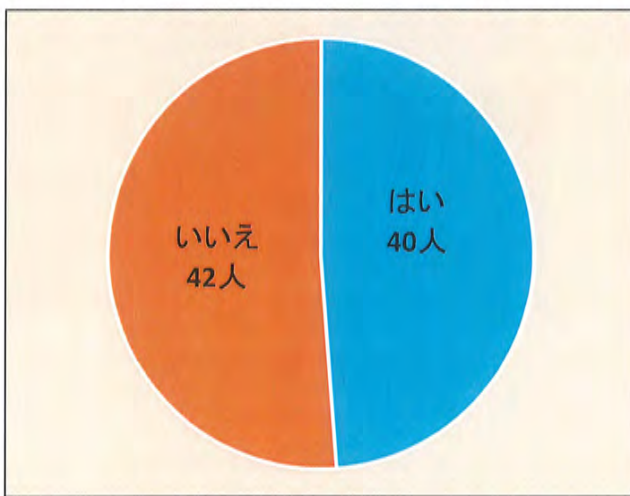
私たちの瀬谷第一地区では、第3期地福計画の振り返りの活動を行うにあたり、地域の各分野の活動に携わっている人を対象に「地福計画推進の振り返りアンケート」を実施しました。

回収総数は83部。集められた評価や意見の中に地福計画の浸透度や普及度が示されていて、大変興味深いものとなりました。

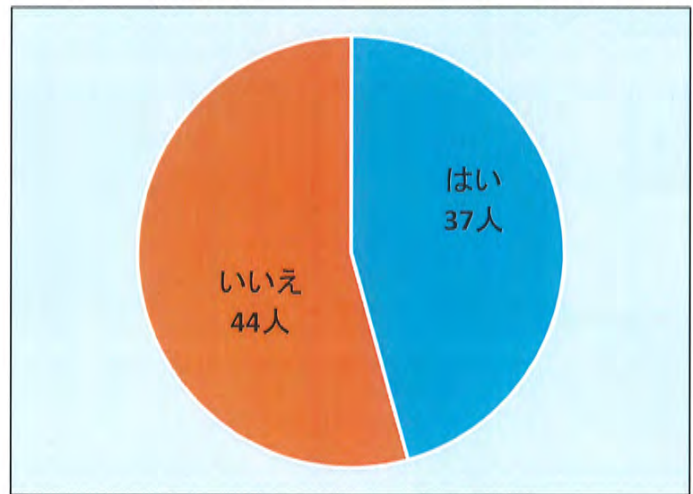
このアンケートの集計結果から導きだされる、〇みんなが求める活動内容や〇今後のあり方をよく検討することで、第4期活動計画も自ずと形成することができると考えています。

今は、結果に示されている内容を連合町内会や地区社協の役員会の中でよく議論して、今後の計画作りに活かしてゆきたいと思います。

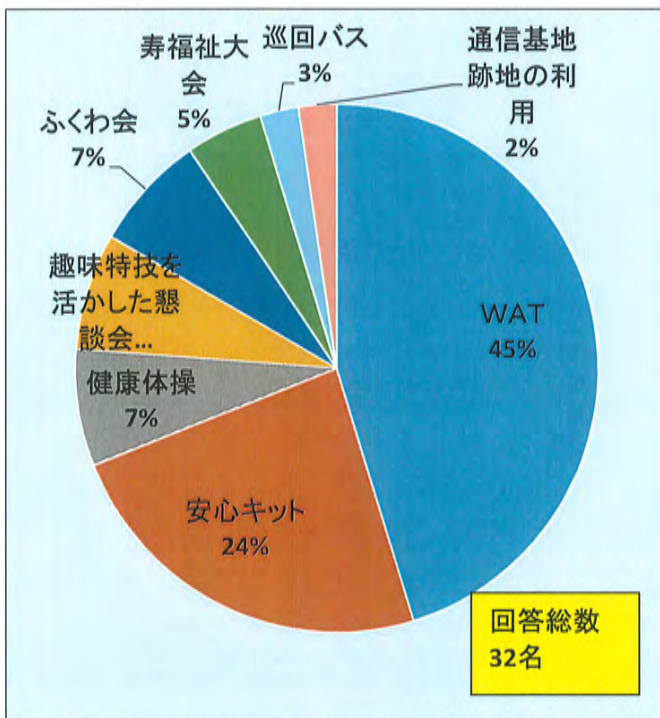
Q1 第3期地域福祉保健計画が進められていることを知っていましたか？



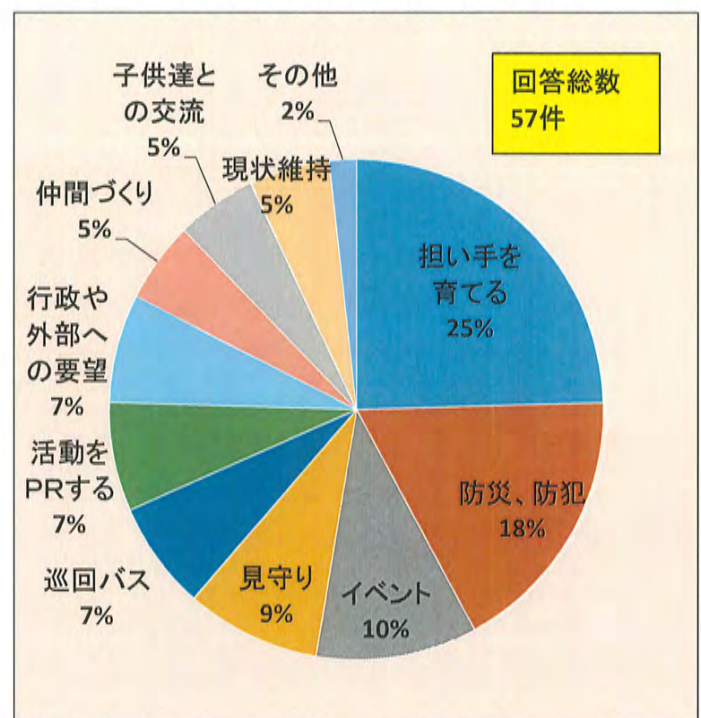
Q2 その計画で具体的に進められた活動内容について知っていましたか？



Q3 進めている地福計画で知っている活動を表記して下さい



Q5 今後どのような活動を望みますか？



本郷のかみら版

発行 本郷地区連合自治会 本郷地区社会福祉協議会 編集責任者 上田三郎 藤井昭男

本郷地区は、基本理念「誰もが安心して自分らしく健やかに暮らせる地域をみんなでつくり、笑顔つなげる幸せ実感の地域を実現しよう」を基に第3期地域福祉保健計画を推進しています。この度、本郷地区連合自治会・本郷地区社会福祉協議会が1月25日(土)にミニ懇談会を開催し振り返りました。

地域の皆様方にあつては、第4期地域福祉保健計画に向けてのご意見やご要望がありましたら、本郷地区社協内田までお寄せください。(連絡先:FAX 045-302-4498)

第3期本郷地区地域福祉保健計画の振り返りについて



大盛況214名参加の「敬老福祉大会」



和気あいあい「第28回カラオケの集い」

- H27 ○本郷サロンが本郷地区の4サロンに再編拡充
- H28 ○コスモサロンが本郷地区5番目のサロンとして発足
- H29 ○敬老福祉大会については最大の251名の参加で盛大に開催
- H29 ○健康長寿サロンピンコロ会が6番目のサロンとして発足

- 敬老福祉大会で、各自治会の方々と楽しい時間を共有でき、顔の見える関係づくりになりました。
- 6つのサロンがあり、誰もがどこにでも参加ができるところが良いです。
- もう少し若いグループが参画し、高齢者と融合した活動が良いと思います。



誰もが安心できる地域づくりを目指して「地域防災拠点防災訓練」



みんな安心「防災グッズ等」の配布



- H25 ○本郷お助け隊の自治会を単位としたボランティア活動の発足
- H27 ○本郷お助け隊見守り支え合い実行委員会が防災グッズを配布、以後対象を広げ継続して取り組む

- 防災グッズをお配りする事によって1年に一度は地域の方に対する見守りができていたと思います。
- 見守り活動が見えるようになってきました。声をかけあい、助け合えるということはとてもよいと思います。
- 本郷お助け隊の活動者を増やす。

**【目標3】
すこやかに育つ力を
育む希望の地域
づくり**



「大門小昔遊びの会」



第69回社会を明るくする運動

- H28 ○社明地区集会のディスカッションに初めて小中学生が参加
- H28 ○敬老福祉大会に初めて瀬谷養護学校高等部が和太鼓演奏に参加
- H30 ○ケアプラザ共催のいちごクラブは子育てボランティア「親と子のサロン」として発足
- R1 ○社明地区集会の方式をブレインストーミングにすることで活発な意見が出る

○幼児から中高生までを対象とした活動が継続的に行なわれて良いと思う。社明地区集会もよかったです。
 ○いちごクラブが地域に根ざして活動しはじめたと思います。
 ●スポーツ講座等小学生全体の交流がもっとあると良いと思います。



「笑顔で楽しく健康体操&栄養講座」
60名参加されました。(第二回)



120名参加「レインボーウォーキング」
瀬谷本郷公園にて

**【目標4】
「健康長寿の里」を
目指す自立の地域
づくり**



- H27 ○初めて本郷のレインボー（7つ）コースを設定し、2週間のウォーキングを実施
- H28 ○第一回食育健康講座を開催。
- H29 ○歩数計を付けてレインボーウォーキングの取り組みが市長記者会見で取り上げられる
- H30 ○地福計画推進シンポジウムに「健康・長寿をめざす地域づくり」をテーマに本郷地区の取り組みについて発表
- R1 ○本郷における健康づくり重点5項目を決定

○食育、ウォーキング、体操、健康長寿講座、さまざまな要素を取り入れた活動を広めています。すごいです。
 ○いろいろな企画があり、特に健康長寿マップを利用したウォーキングは良いと思います。
 ●参加者を広げていくにはどうすれば良いかが課題。担当者が努力しているのは理解しています。

**子どもから高齢者までの地域の居場所としての
「瀬谷本郷公園はらっぱ広場」の活用**



- H27 ○瀬谷本郷公園はらっぱ広場検討会の参加し地区社協役員会名で4目標に基づく構想を提言。それに伴って第3期地福計画の4目標に「瀬谷本郷公園はらっぱ広場の活用」を追加する。以降地区連合自治会・地区社協の両会長名による「お願い文書」を横浜市に提出
- H29 ○子ども・地域住民参画型「はらっぱ広場」の実施設設計がされる。現在施設整備工事が進行中
- R2 ○「大門小だより」1月号の校長挨拶で子ども参画の「はらっぱ広場」を評価する記事を掲載

○地元の意向や小学生の意向が反映されたのはよかったです。
 ●はらっぱ広場の活用について、プレイパークなど子どもの多様な遊びに生かしてほしいです。



瀬谷北部地区 かわら版



【地域福祉保健計画 瀬谷北部地区推進メンバー】

瀬谷北部地区別計画策定推進委員会

瀬谷北部町内連合会と瀬谷北部地区社会福祉協議会が中心となり、各種団体と学校が協働する推進組織



社会福祉大会

ふれあい 食事会

第1～3期で取り組んだ主な活動や事業

- 交流、啓発事業
- 高齢者・子育てへの支援
- 防災グッズの配布など見守りと災害対策
- 障害者理解・広報の強化
- 食事会、サロンなどによる高齢者支援
- 移動販売による買い物弱者支援
- 町内会と地区社協共催による健康づくり
- 地域と学校の交流
- 地域ケアプラザとの連携による高齢者の生きがい支援
- 子ども食堂の開設



セブンの移動販売 (中屋敷・上瀬谷町)



高齢者への 防災グッズ配布

生き生き 中屋敷 ライフ



子ども食堂 (1月・10月開催)



配食サービス がしわ会



子育てお母さんの集い 『タツ子』

①交流・啓発

- ★社会福祉大会の実施：年1回開催
- ★レク大会・子どもみこし等各種行事の実施
- ★セブンの移動販売（中屋敷・上瀬谷町）

- ★グラウンドゴルフの実施：週1回実施
- ★子どもたちの為の農業体験

②高齢者支援

- ★ふれあい食事会【5町内合同】：年2回開催 ・【町内会ごと】：各年1回開催
- ★配食サービスかしわ会：週1回実施
- ★80歳以上の方へクリスマスプレゼント訪問
- ★交流サロンの開催

③健康づくり

- ★レクリエーション大会の実施
- ★認知症対策等の取り組み
- ★生き生き中屋敷ライフ（毎月第1土曜日）

今年度から始まった新事業！
からだところの健康になっています。



④子育て支援

- ★子育てお母さんの集い（タッチ）
- ★子ども食堂の実施（年2回）



地域を巻き込んだ
食堂を実施し
ていきたいです。

⑤防災・防犯への備え

- ★ひとり暮らし高齢者、高齢者世帯、障害のある方へ、防災グッズの配布と見守り活動
- ★防災訓練の実施
- ★上瀬谷小学校学園隊による見守り

配食や食事会のメンバーが必要と思われる方には、年齢に関係なくお配りし、
喜ばれています。



⑥障害理解

- ★瀬谷養護学校交流フェスティバルに参加
- ★瀬谷養護学校生徒と小学校児童の交流

上瀬谷の畑で育った野菜を、生徒と
一緒に販売し、毎年大盛況です。

第4期に向けての課題

- 地域活動の担い手の確保
- 隣近所と顔見知りの関係を強める共助の概念不足
- 地域活動に参加したいが出来ない方への支援策
- 要援護者の早期把握と具体的援護策
- 境川などの水害時の避難策



瀬谷第二地区 みんなの幸せプラン

目指すまちの姿

一 誰もが健康で 安全に 安心して、心豊かに暮らせるまち 一

第3期地域福祉保健計画として 7つのテーマを掲げて推進しています。各テーマ毎に、今年度の活動内容の一端をご紹介します。

1. 健康づくり

目指す姿：皆さんが健康で、
長寿を迎えられるまち



サロンでの認知症予防講座

- 「地区内 13のサロン」
では、毎月各種の催しが行われています

2. 災害対策の向上

目指す姿：防災意識が共有できて
いるまち



防災グッズと新規の“ふれあいカード”

- 「防災ガイドと防災グッズ」を準備し、防災ガイドの中には、新規の“ふれあいカード”を厚紙で独立にして、全世帯に配布しています

3. まちの安全を守る活動

目指す姿：誰もが安心して
散歩できるまち



皆さん笑顔の安心散歩

- 4月6日「安心散歩の日」を開催し、安心できる散歩道を紹介しました（毎年4月上旬に開催）

4. 地域活動への参加拡充

目指す姿：皆さんが自治会町内会
会員として共に活動に参加するまち



昨年度は“よこはま3R夢プラン”
等の講演を行いました

- 毎年3月、「人と地球にやさしくをみんなで考える集い」を開催して、交流の場づくりをしています（今年度は3月7日に開催予定）

5. 子ども・青少年の見守りと支援

目指す姿：子どもたちが夢と希望を持ち健やかに育つまち



大人気のミニ電車

■11月17日、3世代が交流する「ちびっ子フェスティバル」を開催しました（毎年11月に開催）

6. 高齢者・障害者への見守りと支援

目指す姿：高齢者・障害者が安心して暮らせるまち



毎年、お楽しみ抽選会は大盛況！

■10月27日、ご長寿の方々にお集まり頂き「福祉大会 ゆずり葉の集い」を開催しました（毎年10月に開催）

7. ボランティア活動の拡充

目指す姿：地域内でボランティア活動が活発に行なわれているまち

■ ボランティア活動団体として「瀬谷第二地区 生活応援隊」を立上げ、平成30年10月から低木の剪定や庭の草むしり作業などの活動をしています



低木の剪定作業

令和元年度の特記活動 認知症の予防活動

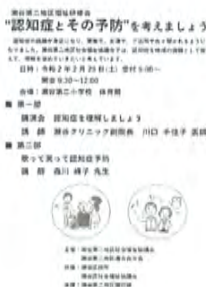
に注力しています！！

目指す姿：認知症の理解促進と予防への啓発と普及

◎認知症の理解促進活動



■ 11月25日に研修会「認知症を考えましょう」で、講演+グループ討議（認知症サポーター養成講座）を開催しました



■ 2月29日に福祉研修会を「認知症を理解しましょう」と「歌って笑って認知症予防」のテーマで開催します

◎ 認知症の予防体操として

『ラジオ体操』を推奨して実施推進



「みずあそびinサマー」の行事前にラジオ体操



■ 各種行事やサロンで「ラジオ体操」を実施
■ 「区内で5つのラジオ体操交流会」を通じて普及活動を実施中

令和元年度

細谷戸地区 かわら版

『心が通じる地域づくり・地域は家族』

第3期地域福祉保健計画に基づいて、細谷戸地区では地域活動をしています。おあしす102実施委員会で計画の振り返りを行いました。振り返りでのご意見を一部掲載します。

目標1 ビーハイブ活動の推進

- ・安心キットの配布や中身の点検は推進できている。
- ・ビーハイブ活動を広く地域に啓発することができた。
- ・おあしす102が開設されて、定期的な利用もされている。
- ・高齢者見守りパトロールの回数が少ないように感じる。



おあしす102外観



細谷戸夏祭りでのバルーンアート

目標2 地域内の子ども育成対策

- ・夏休みのラジオ体操、クリスマス会を実施している。
- ・おあしす102を子どもたちに開放し、学習場所や居場所として活用されている。
- ・外国籍の親子を対象に、にこてらすとイベントを実施した。
- ・子ども対象の活動が思うように進んでいない。

目標3 災害時の対応

- ・訪問される方が安心できるように、ビーハイブ推進委員と協力して、定期訪問が毎回同じ人が訪問できるように工夫している。
- ・高齢者や障害者への具体的な災害支援対策が必要

目標4 障害のある方の把握と援護

- ・定期訪問の機会を利用して、声かけを行っている。
- ・新しく引っ越してこられた方の把握が難しい。

(全体を通して)

- ・はつらつクラブの会員さんが楽しそうに元気で、広く親しまれています。運動・脳トレ・歌って・踊って楽しい時間を共有できることは素晴らしいです。
- ・高齢者、若い人は協力したくても仕事があったりする。人手があればできることも色々あると思う。
- ・おあしす102はまだ一步。これからどの様に生かしていくか検討し続ける必要がある。

細谷戸の地域活動状況

◆ 子育てお母さんの集い

毎月一度の子育て支援事業は、大切な子どもを守り育てる、当連合会の重要な取り組みです。少子化の中、子どもは宝です。楽しむ親子の様子 …… いいですね。



太極拳の演舞

敬老祝賀会の実施

■9月16日 敬老の日

敬老祝賀会を催しました。横浜ヨコハマの漫才・フラダンス・太極拳の演舞等、楽しいひと時をみなさんと過ごしました。

憩いのたまり場 サロン細谷戸



サロン開設来、毎回 50 人以上の方が将棋・麻雀・

手芸教室・映画鑑賞を楽しんでいます！！

- ◆開催日 毎月第二火曜日
- ◆時間 13:00~16:00
- ◆参加費 100円
- ◆場所 細谷戸第1集会所



楽しく・元気に健康づくり はつらっクラブ

- ◆開催日 毎週火曜日（月4回）
- ◆時間 10:00~11:30
- ◆会費 500円/月（入会金・保険料あり）
- ◆場所 細谷戸第1集会所

～気軽に見学・体験してみてください～



第4期計画については、「おあしす 102」実施委員会をより前進させ、住民の「居場所」としてこれからも利活用を高めて行きたい。第4期の中では、3期計画の課題を振り返り、より細谷戸らしい「おあしす 102」活動をしてまいります。





瀬谷第四地区かわら版



第三期地域福祉保健計画のこれまでの取組 (平成 30 年度以降を抜粋)

未来ある子どもたちと一緒に楽しい地域づくり

子ども・保護者・地域住民等が交流する取組を進めました

令和 2 年 2 月
瀬谷第四地区福祉
保健計画実行委員会

おんたくん広場

【R1.9.1 お仕事体験
アナウンサー体験・弁護士体験など】



【H31.2.9 パティシエと一
緒にトリュフチョコ作り】



【R1.6.23 カラーリング
大会 親子で対決】



最後はみんなでカ
レーを食べます

障害者と家族が安心して暮らせるまちづくり

障害者理解の取組を進めました

今後の予定

- 平成 30 年 11 月 23 日 三ツ境養護学校「三ツ境祭」参加
- 平成 31 年 1 月 17 日 障害者理解啓発研修 (57 名参加)
講師：瀬谷区発達障がい理解啓発グループ “ant mama (アント ママ)”

令和 2 年 3 月 12 日 (木)
障害者当事者家族との
交流研修会
*地域訓練会「ほっぺ」
協力により実施予定

健康長寿を目指す地域づくり

高齢者が健康で元気に暮らせるための取組を進めました

- ラジオ体操で介護予防運動【令和 1 年 8 月 25 日 (日)】
平成 21 年 1 月に「元気塾 (介護予防運動) プロジェクトチーム」
が立ち上がり、今年で 10 年を迎え、二ツ橋公園において記念イベン
トとして開催 (元気塾のメンバーや子ども会等、約 120 名が参加)



第 4 地区内では、「元気塾」
として計 6 か所週 2~3
回ラジオ体操等の活動中

第 4 地区のきずな 災害時の支援体制づくり

各自治会・民生委員・児童委員との連携により見守り活動を進めました

あんしんカード

- 単位自治会世帯の会員カード作成【95%達成】
- 高齢化時代に向かい住みよいまちづくりを目指し、連合自治会・民生
委員等と一緒に「あんしんカード」の利用の取組を進めました。



隣近所で見守り・支え合う地域づくり

「見守りが出来ている地域・オレンジ色に染まる地域活動」を進めました



見守りサポーターは、オレンジ色の名札を着用しています

- 令和元年7月11日「見守りサポーター活動推進研修会」開催（約50名参加）
「日頃の活動に於いて、見守りに起こる課題」「考えている事や出来る事」「見守りにおいて大切なこと」等に対し、みんなでグループワークをして考え、活動方針案を作成しました。
- 令和2年1月16日「認知症当事者とトークで学ぶ講演会」開催（85名参加）
アルツハイマー型認知症の方ご本人とトークをしながら話を聞きだす講演会を開催。日常生活の行動をする際にどう考えているのか伺いました。認知症専門医の講演も実施。

◆見守りサポーターの構成委員◆

連合自治会各会長、福祉保健計画実行委員、民生委員児童委員、保健活動推進員、女性地域安全委員、消費生活推進員



トークで学ぶ講演会

誰もが活動に参加する地域づくり

よんたくん倶楽部

「人材発掘・人材育成」をテーマに、「誰もが活動に参加する地域づくり」を目標に実行委員会として進めています。自身の趣味や特技を活かす場を見つけ、地域の活動につながるきっかけ作りに取り組んでいます。

第4期地域福祉保健計画にむけて

【誰もが安心して暮らせるまちづくり】
を目指します

令和3年4月から
令和8年3月まで

5人に1人が認知症になる可能性がある。理解して支え合いができる地域活動を進めよう

「よんたくん広場」おじいちゃんとおばあちゃんと一緒に遊び場をつくってほしいね



「よんたくん倶楽部」次世代の方が中心になって地域活動を進め、元気なまちにしたいね

高齢者、障害者、子どもの貧困などの課題が増えているね。みんなで支えるまちにしよう

地域活動は支える人、支えられる人が一緒になって、みんなで知恵を出し交流し明るいまちにしたいね

活動に参加できていない人もいるね。みんなが楽しく集まれるまちにしたいね

南瀬谷

地域福祉保健計画ってなぁに？

地域福祉保健計画は・・・私たちのまちを良くするための
《暮らしやすいまちづくり計画》です。



皆さんにとって
 身近な事がたくさん
 含まれる計画だよ。

第1期計画（H18～22）

様々な新しい活動が誕生しました。

4箇所の高齢者サロン誕生。
 どのサロンも笑顔でいっぱい



こどものもりふレイパーク誕生。
 年間延べ 2,000 人以上の親子が
 参加する外の遊び場



【高齢者生活支援所あって～
 南瀬谷】が南台ハイツに誕生。
 常設の相談所ができました。

第2期計画（H23～27）

人と人の繋がりや助け合い等総合的な課題に取り組みました。

【みなみせやサポーターズ】は
 登録制ボランティアです。
 できるときにできることを!!



【あいさつ♡いっぱい♡みなみせや】
 の合言葉を幟やティッシュなどでPR!!



相鉄バス 12:16
 車内放送決定!!

南瀬谷地区では誰もが気持ちよく暮らせるまちに
 するためにあいさつ運動を行っています

あいさつ♡いっぱい♡
 みなみせや



南瀬谷地区福祉保健計画推進協議会

第3期計画（H28～R2）

まちをみんなで良くする新しい仕組み作りにチャレンジ!!

第3期計画のテーマ
【みんなで育てよう! 暮らしやすいまち南瀬谷】
 実現に向けて、一部の人の力
 でなく自治会も部会も社協ボ
 ランティア団体も地区内福祉
 施設等も、地域で活動する皆
 さんが一緒に取り組み、多く
 のまちの人の声を生かしてい
 く為**全体会**を開く事にした
 んだ。《みんなのために みんな
 でつくる みんなの計画》
 なんだね!!

新たな地域福祉保健計画推進協議会

全体会 地域でやっている事や必要な事をみんなで共有

※全体会には、地区で活動する様々な団体(自治会・部会・
 地区社協ボランティア団体・福祉施設)や住民が参加。



※企画委員会は、連合と地区社協等から選出し、
 全体会の運営や計画の「推進役」を担います。

全体会報告

組織改革により、これまでに3回の全体会を実施し、**多くの人の声**を聴きました。

第1回全体会 2019.2/23
65名参加 於：南瀬谷小コミスク

テーマ

- ★地域福祉保健計画と日頃の地域活動の繋がりを知ろう。
- ★暮らしやすいまちを育てるためにできること。

皆さんの声

- 🍎 地域福祉保健計画についてよくわかった(多数)
- 🍎 今後のボランティアの募集方法を考えていく必要がある。
- 🍎 あいさつは自治会でも取り組みたい。

南瀬谷地区で行われている様々な活動をみんなで共有する為に、活動のアレコレを一冊にまとめた**『みんなのなび』**を作成しました。



第2回全体会 2019.7/6
200名参加 於：南瀬谷中体育館

講演 『わたしのため、みんなのためのまちづくりのすすめ』 佐塚玲子氏
 地域福祉保健計画を知ろう!

南瀬谷ぐるっと〇×クイズ(区制50周年記念)

皆さんの声

〈今後地区で取り組むと良いと思う事 TOP3〉

- 🍎 子どもたちの支援
- 🍎 災害時の助け合いの強化
- 🍎 見守り合い・助け合い体制の強化



自治会の班長さんなどたくさんの住民の方の参加がありました。

第3回全体会 2020.1/18
50名参加 於：南瀬谷小コミスク

『暮らしやすいまちみなみせや』を育てるために大切な事をグループワークで考えました。

テーマ

★南瀬谷地区に暮らして良かった事・困った事

皆さんの声

- ☆水害がない。緑が多く住みやすいまち。
- ☆人のつながりがよい。 ☆人があたたかい。
- ☆ボランティア活動で顔見知りがたくさん。
- ☆買い物が大変。 ☆交通の便がよくない。
- ☆若い担い手が増えない。

★今後南瀬谷であつたらいいな・できたらいいな

皆さんの声

- 🍎 誰でも気軽に集まれる場所(空家利用)
- 🍎 コミュニティバスができないか
- 🍎 買い物が便利になるといい
- 🍎 若い世代が活躍できる場
- 🍎 災害時の助け合いチーム
- 🍎 使いやすい公園



あいさつ♥いっぱい♥みなみせや

【第3期計画】のイメージ図です 🍎は南瀬谷で今後もっと充実していきたい活動を表しています。

宮沢地区社協かわら版

★地域サロン活動等の充実

今年度、新たに睦ひばり会館にて「みやざわ倶楽部」を立ち上げ町内の自治会館を利用したサロン活動が、7か所になり大いに賑わっています。その他に給食活動及び配食サービスの活動を行っております。また、あんしん部会として高齢者の方や障害者の方の見守り活動と共に災害時に役立つ「あんしんくん」(グッズ)を提供しております。



サロンふらっと宮沢



ほっとサロンゆうあい



ゆうぎりサロン



いきいきシニア宮茶話会



歌声ラウンジ宮沢



子育てサロンえむ



みやざわ倶楽部



ひまわり給食



配食サービス



あんしん部会研修会



高齢者疑似体験

いつまでも暮らしやすい宮沢にするために...

地域づくり塾 開催しました!

「地域福祉保健計画」のひとつとして、宮沢地区では勉強会を開催しました。第4期へとつながる、住む人の声に向きあったまちづくりの取り組みをご紹介します。

地図がひろがると、さっそく活発な意見交換!




まちづくりコーディネーターを派遣いただきました



話し合いを受け、令和元年11月の月上旬に全戸配布のアンケートを実施。住民の30%から返答があり、全戸配布としては高い回収率となったのです。アンケートの取り組みありがとうございます!の声もありました。

アンケート集計結果 一部抜粋

住んでいてよいと感じる点は? 困っていることは何ですか?

- 1位 自然環境 
- 2位 静かで落ち着いている
- 3位 近所付き合いが良い

- 1位 道幅狭 交通量多 
- 2位 スーパーが遠い 
- 3位 道が暗い 

良い点1位2位は僅差、3位以下と大きく差がつかしました。まさに地福計画「水と緑の宮沢」が愛されていることがうかがえます。

町内にスーパーがない宮沢。「今はいいが将来的に不安」「高齢者のみ世帯は不便」「車がないと不便」と、個々の詳しい状況が見えてきました。ちなみに町内に信号もありません。

今後、集計結果をよりこまかく分析し、次の展開につなげていく予定です。歴史ある人も緑も豊かな宮沢の、令和のまちづくりにご期待下さい!



相沢地区かわら版



令和2年2月 推進母体：相沢地区社会福祉協議会

相沢地区第3期計画

「地域で生活するすべての人が安心して生活できるまちづくり」
をさらにすすめます～

相沢地区の第3期計画（平成28年度～令和2年度）は、第2期計画の活動や事業に加え、これらをさらに拡充する活動や事業を展開しています。

【第1期・2期計画の継続として取り組んでいる活動・事業】 <平成30年度実績>

○相沢ふれあいサロンⅠ、Ⅱ

第3木曜日（相沢原集会所）第4金曜日（相沢公会堂）にて開催
参加者計622人



○配食サービス「火曜の会」

（一人暮らしの高齢者への支援）

第1～第4火曜日に配食
配食数1645食



○相沢ふれあい食事会

（一人暮らしの高齢者への支援）

第一～第四と第五～第八町内会、各3回瀬谷センターで開催
参加者325人



○わいわいおやこ会（子育て支援）

民児協主催により、
第4木曜日（8・1月を除く）
相沢公会堂で開催
参加者234組



○ふれあい体操の会

第1、第3水曜日に
相沢公会堂で開催
現在8名参加



○相沢助け合いの会

昨年2月からの再試行を経て6月正式発足、12月まで計23件扱った
現在ボランティア14名



○隣近所のさりげない見守りによる地域づくり

年2回町内会掲示板にチラシ掲載

○見守り活動「こんにちはチーム」

「こんにちはチームだより」7号発行

○健康保健講座の開催

2回開催参加者計約60名

- ・「健口ってなあに」
- ・「食品表示ってなあに」
- ・「手洗いについて」



【新たに取り組まれている活動・事業】

○障害のある方たちとの交流の場をつくる

施設（せや福祉ホーム）を訪問し、障害のある方と一緒に歌った（H30・3月）



○相沢地区のボランティア通信の発行

R2・2月創刊号発行



第3期相沢地区地域福祉保健計画の振り返り懇談会を開催！！

11月18日、相沢地区社会福祉協議会の理事、役員及びこんにちはチームの代表者により振り返り懇談会を開催。参加者28名。(株)地域環境計画の田中孝司主席研究員をコーディネーターに迎えて行いました。第3期計画を振り返り、良かったことや気になったことを「えんたくん」を使って話し合いました。

良かったこと



- ・さりげない見守りの事例集が出来た。各町内から事例があがり、集めることができた。
- ・駅で気になった方のことで民生委員に相談し、見守りに繋がった。
- ・今年度、助け合いの会が立ち上がった。月3件程度活動ができている。
- ・役員の考え次第でプラス思考になった。30代でひっぱり手してくれる人がいる。
- ・子ども会をなくして町内会として活動を支援した。R1～「子ども支援部」発足。
- ・ふれあいサロンやふれあい食事会が継続できた。予定通りに開催した。
- ・初めて社協という役員をやらせてもらい、今まで知らなかった事などが知ることができ良かった（色々な活動をしているなど）。

気になったこと



- ・高齢者でお子さんと同居しているが、気になる人が増えている。
- ・アパートに1人住まいの高齢者が町内会に加入していない。
- ・子ども食堂など子どもが集まれる場がないし、作れていない。
- ・地区内で同じような活動メニューしか提供できていない。季節行事が中心。
- ・講座に参加する地域の方が、全体的に偏っている（年齢も含め）。
- ・団体が発足して10年以上たつので、マンネリ化してきている。
- ・新規で参加した人からグループが出来ていて入りづらい雰囲気がある。
- ・多様な人、価値観の変化、時代の変化を強く感じる。

第4期相沢地区地域福祉保健計画に向けた方向性



【振り返り懇談会より PICK UP!】

- ・高齢者にどう活躍してもらおうか。心身ともに健康な高齢者を増やす！！
- ・年1回やっているイベントなどについて、やり方や内容を変えてみる。
- ・新規参加者を増やす工夫。内容を工夫するため、趣味や楽しみを軸にして考えてみる。

社協会長のつぶやき



- ・地域福祉保健計画の推進に限らず地域活動における担い手不足は深刻な課題ですが、ボランティア論を究明しながら活動を継続していく必要があると考えられます！